

SS 研教育環境分科会 2016 年度会合
「学習者主体の学びとその支援 –学習者主体の学びの場の提供–」

- 日時 : 2016 年 10 月 29 日(土) 分科会 9:30~12:30 (受付 9:00~)
- 場所 : ANA クラウンプラザホテル神戸 [〒650-0002 神戸市中央区北野町 1-1 TEL: 078-291-1121]
- 開催趣旨

現代社会は複雑・高度化するだけでなく、その変化も著しく、将来の予測が困難となっている。中央教育審議会では、このように変化の激しい時代に生き残るため、「生涯、学び続け、どんな環境においても“答えのない問題”に最善解を導くことができる能力」を育成することが大学教育の大きな目標であるとしている。

このような背景のもと、これからの学びについても学習者がより主体的に学ぶことが求められる。

SS 研教育環境分科会では、年間のテーマを「学習者主体の学びとその支援」とし、本会合は「学習者主体の学びの場の提供」をサブテーマとして、以下の内容で実施する。

- **プログラム** (予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承下さい。)

–敬称略–

9:00~	受付
9:30~9:35	開会あいさつ
9:35~10:35 講演 Q&A 60 分	<p>[1] 大阪大学アクティブ・ラーニング教室 (HALC) の紹介と活用事例 岩居 弘樹 (大阪大学)</p> <p>HALC (Handai Active Learning Classroom) は、「学生が全員前を向いて、先生のありがたいお話を拝聴する」というスタイルを壊したいという発想で設計された教室である。3 面スクリーン兼ホワイトボード、可動式ホワイトボード、プロジェクター 4 台、iPad60 台を備えた HALC では、外国語科目だけでなく、遠隔講義や演習科目、各種セミナーなど、ICT とグループワークを組み合わせた新しいスタイルの授業を実現できるようになった。</p>
10:35~10:50	休憩
10:50~12:25 講演+ワークショップ 95 分	<p>[2] プレイフルラーニングで世界を ROCK しよう！ –ステージというパワフルな場が学びを鍛える– 上田 信行 (同志社女子大学)</p> <p>学びの風景を 3 つに分けて描いてみたい。learning 1.0 (learning through instruction) は学校型で知識を GET する学び、learning 2.0 (learning through making) はアトリエやスタジオ型で知識を MAKE する学び、learning 3.0 (learning through performance) は劇場型でオーディアンスを ENTERTAIN する学び、という 3 風景である。今回の研究会のテーマが「学習者主体の学びの場の提供」であるため、learning 3.0 を中心にして、ステージというプレイフルな場がいかに学習者をアクティブにするかについて、ワークショップとレクチャーを通して体験していただこうと構想している。</p>
12:25~12:30	閉会あいさつ

(裏面に続く)

■ アクセス

ANAクラウンプラザホテル神戸

●所在地：〒650-0002 神戸市中央区北野町1丁目

TEL:078-291-1121(代) FAX:078-291-1151

山陽新幹線・神戸市営地下鉄「新神戸駅」直結



■ ご参加について

- 参加対象：SS研究会機関の方であれば、どなたでもご参加いただけます。
- 参加費：無料
- 定員：50名(予定)
- 服装：堅苦しくない雰囲気での討論できるように、くつろいだ服装でご参加下さい。

■ 詳細・お申し込み

SS研Webサイトからお申し込み下さい。

<http://www.sskn.gr.jp/MAINSITE/>



Scientific Systems

【お問合せ先】サイエンティフィック・システム研究会(SS研)事務局

〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

富士通(株) カスタマーリレーション統括部内 (SS研)

TEL : 03-6252-2582(直通) Email : office@sskn.gr.jp

URL <http://www.sskn.gr.jp/MAINSITE/>